

原子力リスク研究センター (NRRC) 第 10 回 原子力経営責任者会議 議事録

1. 日 時 : 2018 年 5 月 17 日 (木) 15:00~17:00

2. 場 所 : 電力中央研究所 (大手町本部) 役員大会議室

3. 出席者 :

主査 : アポストラキス (NRRC)

委員 : 河田 (北海道電力 ; 阪井代理)、増子 (東北電力)、牧野 (東京電力 HD)、
伊原 (中部電力 ; 倉田代理)、放生 (北陸電力 ; 石黒代理)、
豊松 (関西電力)、玉川 (四国電力)、弓削 (九州電力 ; 中村代理)、
市村 (日本原電)、武井 (日本原燃)、浦島 (電源開発)、
横尾 (NRRC)

オブザーバー : 倉田 (原安進 ; 中野代理)

NRRC 幹部 : メザーブ、高橋、白井、梅木、稲田、山本

幹事 : 示野 (NRRC)

4. 議 事 :

(1) 2017 年度 研究成果について

NRRC より、2017 年度研究成果について説明した。

(2) NRRC 活動状況

NRRC より、「伊方第 3 回外部レビュー実施概要」、「NRRC における PRA 教育」、
「NRRC 公開ワークショップ (案)」について報告した。

(所長の主な発言)

- ・規制機関が事業者の個別の PRA の質をどう評価するかは難しい問題で、米国でも問題になった。米国原子力エネルギー協会 (NEI) が PRA ピアレビューガイドを出し、事業者がピアレビューを行う際に、米国原子力規制委員会 (NRC) はスタッフを陪席者として出した。それにより本格的なレビューが行われていることを確認し、NRC としても NEI ガイドに則ったピアレビューがなされることで一定の質が確保されていると判断することにした経緯がある。

以 上